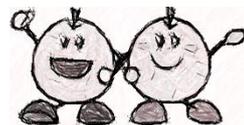


春が来たよ！
外にでかけよう



男女共同参画だより
No.27 平成27年春号

やちよ

へあ

私にも何かできるかも

“私スタイルのおうち起業”

起業を目指す女性を対象に、11月29日(土)から3回にわたって開催した「私にも何かできるかも“私スタイルのおうち起業”」には、延べ62人が参加。最初に雑貨の仕事塾を主宰するマツドアケミさんから、自分のやりたいことを探し出すヒントや、起業の心構えについての講義を受けました。また、4人の女性起業家から、お金のことやPR方法、苦労したことなど実践的な話を聞きました。「モチベーションが上がりました。一歩前に出たいです」と、参加者からは前向きな感想が。魅力的な女性起業家を目指す人たちの笑顔と期待があふれる講座になりました。



◀ マツドアケミさん(中央右側)と一緒に

女性、こころの悩み電話相談
047-485-7333

毎週火・木・金曜日 午前9時～午後4時
祝日：年末年始(12月27日～1月4日)を除く
専門の女性相談員がお聞きします

男性のための電話相談
043-285-0231

毎週火・水曜日 午後4時～8時
専門の男性相談員がお聞きします
問い合わせ：県男女共同参画センター 043-252-8036

男の料理ビギナーズ編

買って、作って、食べて、片付けて

やればできるさ

1月21日(水)から、全3回で男の料理ビギナーズ編を開催しました。一般的に料理教室という時間などの関係で、材料があらかじめ揃えてあることが多く、初心者が家で実際に作ってみようとする、と、意外と難しい場合があります。この講座は、買い物から片付けまで家事としての料理の流れを一通り行うことで“家に帰っても一人でできる”をコンセプトに計画しました。

少し不安そうだった買い物も「これは高いな」、「こっちの方がうまそう」など、グループの仲間としっかり吟味。

相談しながら無事クリアしました。

ハンバーグ作りでは少々苦勞したもの、料理のでき

もなかなかでさっそく家族に合格点もらったという人も

毎日料理を作っている妻のたいへんさが分かったという声も

聞かれ、力を込めて夫の背中を押したパートナーの笑顔とV

サインが目に見えようような気がしました。



高齢化社会

男性も介護する時代です

男性の介護講座

「ケアメンになろう」

介護といえば以前は主に女性の仕事でしたが、今では介護者の3割が男性です。介護を自分で抱え込み、支援を受けにくいといわれている男性を対象に介護講座を行いました。

介護ベッドを使った実技では、男性ならではの力学的な観点からの説明に納得。また、介護者家族会の方たちの説得力ある体験談に、熱心に耳を傾けました。認知症は、早めの受診が大切という助言にも「自分が家族に病院に行こうと言われたら、素直に行くようにします」と話していました。



女性のための再就職応援ナビ

一度仕事を離れた女性が自信を持ってまた仕事を始められるように、10月に再就職応援ナビを実施しました。地域の労働市場が今どうなっているか、応募書類の書き方のポイントなどの具体的な話や

さあ自信を持って

また仕事を始めよう



若見えフェイスメソッドや自分らしさを引き出すカラーについてなど幅広く学びました。

今回はすぐに生かせるようにと、面接の練習も。本番さながらの緊張感に「こんなにドキドキしたのは久しぶり」と、みなさん興奮気味でしたが、やりとげてほっとしていました。



27年度の主催事業の予定

□男女共同参画週間事業 6月の男女共同参画週間に合わせて毎年イベントを開催。

今年は、家庭や地域で注目される、おやじ力についての講演を予定しています。

□女性の就労を支援する講座 10月には、もう一度働きたいと考えている女性を支援する「再就職応援ナビ」を、1月にはあなたの“なりたい”を実現させるための「起業応援セミナー」を開催します。

□男性の介護講座 2月に「ケアメンになろう」を開催します。

*この他にも多文化理解講座や女性学講座などを計画中です

□女性、こころの悩み電話相談

火曜日・木曜日・金曜日の午前9時～午後4時(祝日と年末年始を除く)。市内に在住、在勤、または在学している女性を対象に、専門の相談員がお話しを伺います。一人で悩まずにお電話ください。TEL 047(485)7333

地域に根ざす、女性団体の文化祭

女性団体のルーツは、江戸時代の婦人講にさかのぼるともいわれています。現在は、男女共同参画の推進、青少年の健全育成、地域社会の福祉の推進などを図ることを目的に、地域に根ざした活動を続けています。

新木戸女性会の“唄と踊りのフェスティバル”

新木戸女性会は、36年前に新木戸婦人会として結成されました。現在、会員は100人。地域での活動を通して、今では希薄になったといわれている、世代を超えた住民同士のつながりをつくり、地域力の向上に貢献しています。

“唄と踊りのフェスティバル”は今年で4回目。「心豊かに輝く楽しい一日を！」をテーマに、11月9日(日)緑が丘公民館で開催され、43人が55演目を披露しました。



“地域で、みんなで、いきいきと”

大和田女性会の文化祭

11月16日(日)に小板橋公会堂と名木児童公園で、大和田女性会の文化祭が行われました。前身の大和田婦人会が結成されたのは昭和26年のこと。以来、地域の一人一人がいきいきと暮らせることを願って、長年にわたって活動を続けています。

この日は、活動成果のパネル展示、バザー、グランドゴルフ、口腔ケアなどバラエティに富んだ内容に。秘伝のゆずみそ付きのおでんも大好評でした。



男女共同参画のお話し

得意なことや、持っている資格を生かして起業する女性が増えています。やりがいを持っていきいきと暮らしていて、すてきだなと思っていました。ところが、若い人の中にも夫の理解が得られなくて悩んでいる人が意外に多いことを知り驚きました。得意なことでも、仕事となれば責任も苦勞も生まれます。やりがいと家族の笑顔があるからがんばれる。いちばんの理解者であって欲しいパートナーに「いつも好きなことをやられていいよな」なんて言われたらがっかりです。働く女性の努力が理解されるのには、まだまだ時間がかかるのかしら。

発行：八千代市

男女共同参画課 ☎047-485-7088

男女共同参画センター ☎047-485-6505

住所：八千代市八千代台南 1-11-6

